

グリーンプロジェクトボンドにより、 太陽光発電事業の開発資金 127 億円を調達

本日、リニューアブル・ジャパン株式会社（本社：東京都港区 代表取締役社長：眞邊 勝仁 以下、当社）は、当社グループが岩手県一関市において開発中の太陽光発電所のプロジェクト資金として、127 億円を再生可能エネルギープロジェクトボンドスキーム（パークレイズ証券株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：木曾 健太郎）が組成）により調達しました。

本件は、当社として8件目のプロジェクトボンド発行であり、発行総額は714億円となりました。1つの発電所としては、当社が発行した案件の中で最大規模の発電容量かつ最大の調達額となります。なお、本プロジェクトボンドは、プロジェクトファイナンス形式で発行されたグリーンボンド及びグリーンローンであり、格付投資情報センター（R&I）よりグリーンボンド格付（GA1：最上位の評価）及びグリーンボンド原則等への適合性に関してセカンドオピニオンを獲得しています。

当社は、今後も再生可能エネルギー事業の拡大を通じて CO2 削減に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【対象事業の概要】

| | |
|--------------|---------------------|
| スポンサー | リニューアブル・ジャパン株式会社 |
| 事業内容 | 太陽光発電事業の開発、完工後の発電事業 |
| 所在地 | 岩手県一関市 |
| 事業規模 | 42.3 MW（モジュール規模） |
| 年間 CO2 排出削減量 | 約 23,407 トン |

【プロジェクトボンドの概要】

| | |
|-------|----------------------------|
| 名称 | RJ 再生可能エネルギープロジェクトボンド VIII |
| 発行金額 | 127 億円 |
| 発行日 | 2021年2月12日 |
| 最終償還日 | 2040年8月20日 |
| 受託者 | 日立キャピタル信託株式会社 |

以上

すべての人をエネルギーの主人公に。